

「心に残る文化財子ども塾」活動の様子～松江市立法吉小学校～

1. 活動の概要

令和3年9月24日（金）、松江市立法吉小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。活動内容は古墳見学です。まず、体育館で遺跡・古墳とは何か、小学校の周辺にある遺跡の紹介をし、その後実際に古墳を見学しました。今回は小学校の周辺にある、折廻（おりさこ）1号墳、塚山（つかやま）古墳、伝宇牟加比売命御陵（でんうむかひめのみことごりょう）古墳の3ヵ所を巡りました。

それぞれの古墳がいつ造られたのか、どのような形・大きさなのか、何が出土したのか、埋葬された人はどんな人だったのか、などを説明しながら一緒に考えました。今回訪れた古墳は、子どもたちにとって普段から目に入る場所にはありましたが、近くでしっかり観察する機会はなかったようです。

古墳の見学を通して、地域の歴史について知ってもらい、当時の人々の生活の様子や亡くなった人に対する思いなどを考えてもらうことができました。

2. 活動の様子



小学校の中にも古墳があります



身近な公園の中にある古墳が実は
すごい古墳だった！



実際に大きさを測ってみよう



古墳の名前にはこんな意味が？

3. 子ども塾を終えて

① 児童の皆さんから

- ・小学校に古墳があることを初めて知った。
- ・折廻1号墳を37年前の法吉小6年生が作ったなんて知らなかった。古墳作りの大変さがわかった。
- ・埴輪を持ったら意外と重かったので並べるのは大変だと思った。
- ・古墳から出たものをもっと見てみたい。
- ・島根県や他の地域の古墳にも行ってみたい。

② 担任の先生から

- ・古墳の大きさがイメージできる具体物があり、分かりやすかった。
- ・こうした経験から子どもたちは自分たちの生まれ育った町を大事にしてほしいなと思います。
- ・もう少し近いところでまわることができると、より集中して学べたかなと思います。

③ 埋文センターから

- ・普段そこまで深く考えてこなかった古墳について、実際に見学してより身近に感じてもらえて良かったです。
- ・先生の言うことをよく聞き、スムーズに見学することができたので、予定通りの時間で終わることができました。ご協力ありがとうございました。
- ・外での見学だったので、鉄刀や鏡などの本物を見せることができませんでした。機会があれば、周辺の集落遺跡から出土したものも含めて本物に触れる機会を設けられたらと思いました。